



いちかわみさと

議会だより

第66号

2022年2月1日発行



新春の八ヶ岳（手前は市川三郷病院、ケアセンターいちかわ、生涯学習センター）

令和3年

12月定例会

山梨県市川三郷町

● 新町長あいさつ、新議員紹介、第2回臨時会	2
● 条例の改正、一般会計補正予算	3
● 常任委員会報告	4～5
● 町政を問う 一般質問6議員	6～11
● 組合議会の報告	12～13
● 広域事務組合の概要	14
● 審議結果・討論・人事	15
● みんなのページ	16

令和3年 12月定例会

12月2日～14日開催

令和3年度の補正予算、条例制定・改正など21議案を審議し、原案のとおり承認・可決しました。

条例制定（1件）

- 副町長の定数を定める条例の制定
 - ・副町長を設置するため（定数1）。
 - ・併せて、副町長を置かないことの条例を廃止する。
 - ・施行日は令和4年4月1日。

条例改正（7件）

- 町職員給与条例の一部改正
- 町長、教育長の給与及び旅費条例の一部改正
 - ・人事院及び県人事委員会勧告に伴い、期末手当の支給率を減額する。
- 特別職報酬等審議会条例の一部改正
 - ・新たに設置する副町長の給料の額を審議するため。
 - ・施行日は令和4年4月1日。

- 手数料条例の一部改正
- 印鑑条例の一部改正
 - ・個人番号通知カードの再発行を廃止する。
 - ・個人番号カードを利用して、コンビニ設置の端末機で住民票または印鑑証明書を交付するサービスを開始する。
 - ・施行日は令和4年3月1日。
- 国民健康保険条例の一部改正
 - ・出産一時金の支給額を40万4000円から40万8000円に上げる。
 - ・施行日は令和4年1月1日。
- 国民健康保険税条例の一部改正
 - ・全世帯対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の改正に伴う改正。
 - ・国民健康保険税の未就学児均等割りを5割減額する規定を追加。
 - ・施行日は令和4年4月1日。

令和3年度 一般会計補正予算

（万円未満は四捨五入）

歳入歳出補正額 +1億5055万円 補正後総額 100億5136万円

歳入の主な補正の内訳

- ・国庫支出金 2億9360万円
（うち新型コロナ対応地方創生臨時交付金 1億7577万円）
- ・財産収入 1200万円
（if センター前道路拡幅に伴う県への町有地売却）
- ・繰入金 △1億6363万円
（うち財政調整基金繰入金 △1億6519万円）
- ・諸収入（公共工事補償金等） 501万円
- ・県支出金（県補助金） 197万円

歳出の主な補正の内訳

- ・官製談合事案調査第三者委員報酬 48万円
- ・子育て世帯への臨時特別給付金 9800万円
- ・まん延防止事業重点措置休業等要請協力応援金 1175万円
- ・新型コロナワクチン接種事業費 228万円
- ・国民健康保険特別会計繰出金 211万円
- ・高田農業用ポンプ修理代 250万円
- ・町道箆鼻川浦線標識設置工事費 892万円
- ・ // 下水道施設等補償費 388万円
- ・生涯学習センター境界構造物撤去工事費 242万円

*繰入金…会計の収入不足を補うために、他の会計や積立金（基金）から充てられる資金。
*繰出金…主に一般会計から特別会計に対して、不足を補うために支出する資金。
*金額の△表示は予算の減額。

遠藤新町政スタート



遠藤 浩 町長

このたび市川三郷町長に就任しました。これまでの18年余に亘る議員経験を活かし、町政の再生を推進します。

この町に住んでいる皆様が地域を愛し、地域を誇り、そして地域に暮らす意義を実感できる「住み心地の良い町」日本一を目指します。

これまで守ってきた少人数教育をさらに進化させ一歩先行く人材育成を推進します。

また、中部横断道開通を契機として六郷インター周辺の開発、伝統・地場産業の振興に力を入れて今後の政策に反映していきます。

議会との両輪体制を構築し、説明の機会を拡充、真摯な議論を交わしていきたいと考えています。

新議員紹介

令和3年10月31日執行の町議員補欠選挙において、新議員2名が当選しました。

新津 千吉



・昭和29年12月4日生
・市川三郷町落居
・会社員

一ノ瀬 幸人



・昭和28年2月14日生
・市川三郷町高田
・農業

村松 武人 議員より11月15日付で辞職願が議長あてに提出され、受理されました。

令和3年第2回 臨時会

11月22日開催

町官製談合事案への調査に係る第三者委員会設置条例の制定

・制定理由

第三者委員会により、再発を防止するための具体的方策等を検討するため。

・所掌事務

町長の諮問に応じ、調査・審議し、その結果を町長に答申する。

(1) 不正事案の事実関係その他の実態把握

(2) 再発防止に係る具体的方策

・委員

弁護士、公認会計士、税理士、学識経験者の5人以内で組織する。

・任期

所掌事務の業務が終了する迄。
（今年度内を目的）

監査委員条例の改正

「監査委員は、議員のうちから選任しない」とする改正。（これまでは、議員から1名、学識経験者1名を選任）

監査委員の選任

・出 月 清 彦 氏（市川大門）
・原 間 俊 彦 氏（上野）



常任委員会 報告

質疑の一部を
要旨のみ掲載します

総務厚生常任委員会

開催日
12/3

副町長の定数を定める条例制定

問 財政的に副町長を置く余裕があるのか。

町長 財政的には余裕はないが、組織の機構改革や財政再建に、外部人材として副町長の登用が必要不可欠である。

問 職員の中にも有能な人材がいるのではないか。

町長 町長に権限が集中するので、外部の厳しい目線が必要である。

財産収入

問 土地売却収入の詳細は。

海沼財政課長 生涯学習センター前県道拡幅事業のため、町有地の一部をm単価

3万円で、400㎡を県に売却することによる収入である。

新型コロナウイルスワクチン接種事業費

問 ワクチン接種率は

望月いきいき健康課長 12歳以上の対象者14,386人に対し、11月28日現在で接種率86.7%である。

問 10代・20代の若年層のワクチン未接種者への接種勧奨は。

いきいき健康課長 本町は若年層の接種率は比較的高いが、広報やホームページ等により積極的に啓発していく。

***訪問看護ステーション西八代特別会計**

問 管内にも同様な業務を実施している事業所があることから、統合等も視野に取組みをしたらどうか。

櫻井福祉支援課長 訪問看護ステーション西八代の経営そのものは悪くないが、新たな発想として取り入れていきたい。

***訪問看護ステーション西八代**
介護保険制度のスタートに伴い、西八代管内町村（旧西八代郡）の医療サービスの地域格差解消を目的に設置された。
・病気や障がいを持った人、看護を要する人が、住み慣れた地域やご家庭でその人らしく療養生活が送れるように、利用者の居宅へ訪問し看護を提供するサービスを行っている。
・経営状況としては、一般財源からの繰入れは行わず、比較的安定した経営状況である。
・拠点はケアセンターいちかわ内。

総務厚生常任委員会

◇所管：政策秘書課、総務課、財政課、町民課、税務課、いきいき健康課、福祉支援課、保育課、出納室、三珠支所、六郷支所、議会事務局

◎委員長 ○副委員長



いづ 新津 せんき 千吉 さいとう 〇齋藤 美佐 みさ 高尾 たか お とおる 〇丹澤 たかし 〇笠井 かさい 登井 雄一 ゆういち 一瀬 いちのせ ただし

教育土木常任委員会

開催日
12/7

農業振興費

問 すもも産地競争力強化支援事業費補助金の趣旨は。

望月農林課長 輸入すももに對抗する高品質化のためのものである。県の制度であり、JAを通して受付ける。

町道筆鼻川浦線（三珠）工事費

問 20年越しにこの春開通予定だが、総事業費と財源割合は。また、道路沿いの農業振興地域の農用地区域除外の計画はあるか。

渡辺まちづくり推進課長 総額で約13億1300万円。財源は国から38%、町債で53%、一般財源が9%である。
農用地区域除外は、来年度の都市計画マスタープランの改訂時に用途地域等の見直しと併せ検討する。

土木費

問 波場公園（大塚）付近に住宅地の希望が多いが、整備としてはどうか。

まちづくり推進課長 マスタープランの見直し時に検討する。

問 上野保育所に通じる道路は朝夕の送迎時に混雑している。狭あい道路の拡幅予定は。

立川土木整備課長 令和4年度に計画している。

生涯学習センター管理費

問 境界構造物撤去工事費とは。

森川生涯学習課長 センター前の県道が令和5年度にかけ、500mにわたり幅員12mに拡幅される。出入り口の後退に際しての構造物の撤去を、県の補償金を充て行う。

廣瀬ダム共同事業者負担金関連

問 「*畑かん（畑地かんがい用水）」を、非加入者が勝手に利用する例があるようだが。

***畑かん** 干ばつ等による農作物への被害を防ぐため、笛吹川上流の廣瀬ダムから取水した水を、用水路を通じて笛吹川沿岸の受益地の畑地に送水する事業。

農林課長 畑かん施設には加入者専用と表示している。無断使用の情報があれば直接指導する。

町長 加入者ステッカー提示の周知など、対応を検討する。

みたまの湯温泉事業

問 百万円以下の修繕は指定管理者の負担ではないのか。

塩沢商工観光課長 7月13日夕刻に源泉ポンプ制御盤が落雷の被害にあった。不可抗力による被害対応は町の負担となる。近くに避雷針はあったが落雷した。

教育土木常任委員会

◇所管：防災課、農林課、商工観光課、生活環境課、土木整備課、まちづくり推進課、教育総務課、生涯学習課

◎委員長 ○副委員長



いちのせ 幸人 せゆき 〇瀬 秋山 あきやま 豊彦 とよひこ 〇笠井 〇笠井 辰生 ありい 〇有泉 希 たかし 小川 おがわ よしかず 好一 まつの 松野 きよたか 清貴 みかみ 三神 さだお 貞雄

たか お とおる
高尾 貫 議員

遠藤町長の目指す町の将来像は

——「住み心地の良い町」日本一を目指す——

《質問項目》

- 1 市川三郷町をどのように推し進めていくのか
- 2 過疎地域持続的発展計画と総合計画との整合性は
- 3 市川大門地区の都市計画道路の整備計画は
- 4 市川三郷病院について
- 5 外部人材を活用したクリーンな行政運営について



※「あつたらいなを作る会議」
町社会福祉協議会、福祉・保健関係者、介護事業所、各種団体、行政など、様々な構成員の参加に基づき、平成28年7月に設置された協議体。
一人暮らし高齢者のニーズ調査、男性の居場所づくり、生活支援活動の立上げなどに取り組んでいる。

《質疑概要》

問 遠藤町長が描く町の将来像は。

町長 新しい地域経営など、施政方針に則り「住み心地の良い町」日本一を目指す。

問 財政運営の改善にどう取り組むか。

町長 新年度当初予算編成時に事務事業を見直し、経常経費削減に取り組む。個人対象の給付事業はその効果を検証し、公共支援型に転換を図る。

問 法令順守意識など職員の育成のあり方は。

一瀬総務課長 人材育成基本方針を磨き上げ、他町に負けない人材を育てたい。

問 県や他市町との職員人

町長 今後反映させたい。

問 機構改革で職員削減は。

町長 機構改革は人員整理ではない。機械化など具体的な事例を今後早期に示したい。

問 買物困難者の増加の受け止めと対策は。

町長 ※「あつたらいなを作る会議」での課題抽出と検討を踏まえ、「こまりと手つだい隊」を立上げている。

問 過疎地域持続的発展計画に買物困難者対策を明記して取り組みのアピールを。

町長 住民同士の支え合いの取り組みを進めている。その動向を見極めて判断する。

問 役場前道路から市川大門南線通りまでの整備計画の現状は。

町長 同計画は白紙に戻さ

れたが、重点整備路線との位置付けは変わらない。必要な事業費は約15億円と見込まれる。来年度の都市計画マスタープラン見直しにおいて整備方針を示したい。

問 狭あい道路や袋小路の整備方針は。

町長 狭あい道路拡幅整備に関する要綱に則り改善に努めている。今後も整備を進める。

問 市川三郷病院の建替えへの考えは。

町長 富士川病院とは役割を分担して、市川三郷病院の存続と建替えを推進する。

問 外部人材の活用・配置の基準は。

町長 監査委員や第三者委員会と同様、客観性や新たな発想、知識・知恵に期待する。

《質問項目》

和紙、はんこ、花火などの トップセールスによる振興戦略は

——他団体との事業連携などの取組みを
具体化していく——

いちのせ ただし
一瀬 正 議員

《質疑概要》

問 和紙、はんこ、花火の振興に関する戦略は。

町長 就任挨拶時に知事、山梨大学長などに和紙名刺や落款印などを紹介し、活用して頂いている。またコシノジュンコ氏の来庁時にははんこを活用したモニタメントの提案を受けた。この様に折に触れ地場産品の紹介をしていく。



問 平和事業への取組み方針は。

町長 本町は平成18年4月に「核兵器廃絶平和宣言」を行っている。今後

問 町図書館の魅力を高める工夫を。

町長 令和2年1月に開設した町立図書館は旧施設の約4.3倍の広さであり、人・まち・社会を育む情報拠点を目指している。

問 不祥事を防止するための機構改革の方針は。

町長 第三者委員会を設置し再発防止策を検討する。チェック機能の改善・強化を図り、行政のクリーン化により町民の信頼回復に取り組む。

問 現在の町民支援施策への対応は。

町長 18歳までの医療費無料化は、事業趣旨を踏まえた必要性を検討する。中学3年生までの給食費無料化は、引き続き支援できる様検討する。

問 休耕田や空き地の除草への支援策は。

町長 雑草関連は、田畑は農林課、空き地は生活環境課及びまちづくり推進課が現地確認、訪問等で除草依頼や指導をしている。所有者の事情を理解しながら相談・助言に努めている。

問 高齢化に伴い河川管理が困難な地区への支援策は。

町長 河川区域内の除草は、堤防の決壊等の危険性がある箇所は河川管理者が行っている。区域内でも水が流れる部分は除草作業は行っていない。草刈り等を含む河川管理は地域との共同で行っていきたい。

広域ごみ処理施設建設に関する 「連絡協議会」設置を ——地元団体等と協議し検討する——

たんざわ 丹澤 議員
たかし 孝 議員

《質問項目》

1. *広域ごみ処理施設建設に関する「連絡協議会」設置について
2. 町の歴史、文化の維持・整備に関する基本的考え方について
3. 市川大門中央通りの一方通行制限時間の見直しについて



*県ごみ処理広域化計画の概要
○県内の家庭ごみ処理施設を3ブロックに集約する
A：峡北・中巨摩・峡南地域
B：郡内地域
C：甲府・峡東地域（稼働済み）
○Aブロックの概要
・参加11市町で「山梨西部広域環境組合」を令和2年2月設立。
・建設地は、中央市浅利地区。
・稼働予定は、令和13（2031）年4月。

《質疑概要》

問 広域ごみ処理施設の建設地に隣接する大塚地区では、施設建設に伴う様々な影響を心配し、対応策を要望している。
対策への具体的取組みを協議する場として、町・山梨西部広域環境組合・大塚地区農業団体などで構成する「連絡協議会」を設置することが求められる。

町長 大塚地区の危機感は理解している。
地元要望事項は、施設の安全性・処理場における排水対策・豪雨時の浸水対策・周辺の交通対策・環境対策など多岐に亘る。町全体の要望として位置づけ、環境組合、県関係機関と協議を進める中で十分な対策・対応を求めている。
連絡協議会の設立については、地元団体などと十分協議し検討していく。

問 町の豊かな歴史・文化の維持・管理のためには歴史資料館の整備や学芸員の配置が必要である。
また、当面は既存施設を活用して、常設の展示コーナー設置の検討を。

町長 町第2次総合計画では、将来像の基本的考え方のひとつに「誇れるまち」として「文化や歴史を守るまちづくり」を掲げている。この目的に沿った施策に取り組む。
学芸員の任務は重要であると認識しているが、当面は町の民間有志の協力を得て文化財の収集・維持・管理事業を進めていく。

問 貴重な文化財が町に寄贈されたとのことだが、概要は。

森川生涯学習課長 幕末の1860（万延元）年に遣米使節団の一員として世界一周した市川代官所典医の広瀬保庵が、帰国後木版画で作製した「環海航路新図」という世界地図が南アルプス市の方から町に寄贈された。日本人公式の世界周航を記録した貴重な地図であり、町の文化財として展示・管理していく。

問 市川大門中央通りは朝7時から夜10時まで一方通行である。現在の夜の制限時間を夜8時まで短縮する検討を。

町長 中央通りは登下校など多くの歩行者に利用されている。解除は安全性の低下につながるため一方通行を継続したい。
制限時間の短縮については、周辺道路の環境整備後に安全性を確認し検討する。

問 中央通りの逆走防止のため、道路面へ表示する計画の進捗状況は。



問 今後町民の負担増もあるのではないか。現状説明や町の取組みへの理解をどのように求めるのか。

町長 まず議会に示し、その議論をもってご理解いただく。住民サービスはなるべく壊さずに進めたい。個別支援型から公共性の高いものへ集中投資して行く。

問 黒字化、機構改革にあたり、現在の「公共施設等総合管理計画」等、町の施設統廃合の計画への影響は。

町長 将来的には、影響についても考えていかなければならない。行財政改革、機構改革の検討事項として考える。

財政健全化プランを策定して実行を ——黒字をまず積み重ね、 機構改革と行財政改革に取り組む——

かさい 笠井 議員
たつお 辰生 議員

《質問項目》

- 1 政治倫理条例の制定提案
(1) 町長に求められる政治倫理は
- 2 財政健全化プランの策定提案
(1) 財政健全化プランの策定を
(2) 同プラン策定のポイント
(3) 任期末迄の具体的目標を

《質疑概要》

問 町長の政治倫理姿勢は。

町長 法的、社会的、道義的責任を欠かさず、善管注意義務を怠らずに身を正し、謙虚な姿勢で町政運営に努めたい。

現在の*町議会基本条例には「政治倫理」の条項がある。議会基本条例の改正などから、議会で議論されることを望む。

また、今回第三者委員会の報告を当町の知的財産にした。口利きや政治倫理に関する提言も含め検討して頂く。

問 第三者委員会の委員選考と会議開催の進捗は。

井上政策秘書課長 弁護士、公認会計士、山梨大学理事らに依頼済で、12月8日に初回会議を開催する。

問 県内で政治倫理条例が制定されている市町村は。

一瀬総務課長 大月市と上野原市、富士川町には「政治倫理条例」が、甲州市、甲府市、山梨市、中央市、韮崎市には「政治倫理規定」がある。対象に町長を含むのは富士川町のみである。

問 財政健全化プラン策定の考えは。

町長 まず実質単年度収支の4年連続赤字を解消し、1年ごと黒字を積み重ねる。新年度当初予算編成にて重点課題を踏まえた事務事業の見直しを行い、経常経費の削減など財政健全化に取り組む。現在の財政状況を的確に把握し、限られた財源で最大の効果が得られるよう進める。

新年度から機構改革を進め、住民サービスの充実を図りながら行財政改革に取り組むというステップで進めたい。





選挙公約に掲げた14項目を どの様に実行していくのか

——公約実現に向けて
一つひとつ取組んで行く——

おがわ よしかず
小川 好一 議員

《質問項目》

公約骨子

- ① 新しい地域経営について
(1) 外部人材を活用したクリーンな行政運営
(2) 民間の経営能力を活用して収益性を確保
- ② 教育・子育てについて
(1) しゃべれる英語教育
(2) 地域愛を醸成する地域学
- ③ 医療・介護について
(1) 市川三郷病院の建替え
(2) 介護人材の確保育成支援
- ④ 経済・産業について
(1) 六郷インター周辺に野菜工場を誘致し開発
(2) 和紙、はんこ、花火などをトップセールス
- ⑤ 防災・安全について
(1) 豪雨災害を防ぐ施策推進
(2) 安全安心のための交番などの存続
- ⑥ 交通・インフラについて
(1) 通学路の安全確保
(2) 交流拡大のための道路整備
- ⑦ 住まい方について
(1) 地域愛を育み地域活性化向上のため、お祭りの存続継承
(2) PFI（民間資金と経営能力活用）による町営住宅建設

《質疑概要》

問 市川三郷病院の建替えにあたっては、どのような経営形態を想定するのか。

町長 最適な事業形態実現に向けて、峡南医療センター企業団に対し、公約推進のため取組んで行く。

問 病院の建替えはどのようなタイムスケジュールで実施するのか。

町長 任期中に方向性を示せるよう努力する。

問 六郷IC付近に野菜工場を誘致するとしているが、目標時期は。

町長 今後の政策として反映し、その時点で議論していく。

問 豪雨災害を防ぐため、六郷地区の中心を流れる山田川は、毎年近所の住民の方々が総出で河川の清掃管理をしているが、土砂浚渫工事には至っていない。山田川の土砂浚渫工事の施工計画は。

町長 国土強靱化施策は、国の補助事業であるので、その趣旨に沿って対策を講じていく。

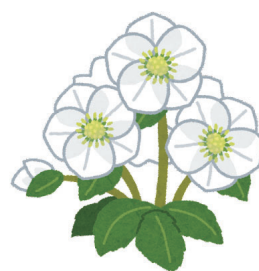
問 三珠地区の大塚田んぼは、豪雨時には排水機能が間に合わず、田んぼ一面が水没する状態である。水位が引くのは数日間を要し、この間は何も出来ない。毎年の被災だが対策は。

町長 防災・減災のため、緊急対策として上野排水機場、下大鳥居、大塚の順に、事業が進むことと認識している。

問 PFI住宅建設事業を公約に掲げているが、現在町が進めている定住促進住宅建設の計画の進捗状況は。

井上政策秘書課長 民間資金を活用したPFI手法により、新婚・子育て世代を主軸とした6階・約40戸規模の若者世帯向け定住促進住宅（地域優良賃貸住宅）を大塚地区（甲斐上野駅そば）に建設する計画を進めてきた。

8月より鋼材、木材、生コンクリートが高騰し建設費が当初より3億円ほど高くなり、町負担ゼロの達成が困難となる見込みのため、当面建設を凍結とする。



問 災害備蓄品管理体制の現状と改善策は。また、食品ロスの観点からも無駄にしない改善策は。

防災課長 管理面の不備から期限切れとなる備蓄品もあった。

町内43カ所の備蓄倉庫に保管してある現物と管理データとが一致しているか確認し、賞味期限の日付を揃えて保管するなど見える化していきたい。

自助の備蓄強化の周知、啓発で町の備蓄は最小限にしていきたい。

問 液体ミルクは賞味期限が1年と短い活用方法は。

望月いきいき健康課長 乳児検診や、各種健康教室等で配布したい。

問 防災意識向上のため自助強化の周知は。

防災課長 携帯トイレの備蓄も含め、町の広報誌、ホームページ、防災講座等で周知する。避難所開設の際には、備蓄品の持参を防災無線で呼びかける。

災害対策としてマンホールトイレ・ トイレトレーラーの導入は ——設置を視野に取組む——

さいとう みさ
齋藤 美佐 議員



***マンホールトイレ**
下水道管路にあるマンホールの上に簡易な便座やパネルを設け、災害時においてトイレ機能確保するもの。

***トイレトレーラー**
災害時の利用を想定して設計された移動設置型水洗トイレ。洋式便座を設置した個室を4室整備。大規模災害時には、所有自治体から被災地へ支援にかけつけることができる。

《質問項目》

- 1、町民に寄り添った便利なガイドブックについて
- 2、防災対策の強化について

《質疑概要》

問 2018年に各種手続き等の情報をまとめた「暮らしの便利帳」を官民連携事業（町の財政負担がない）で全戸配布しているが、新しい冊子の計画は。

町長 民間事業者との協働で広告業者等を募集。民間主導の作成であるため、有効な手段における情報発信を検討していく。

問 知って得する町の支援策（申請による補助金）一覧表の作成は。

一瀬総務課長 広報誌を利用して一覧にまとめ周知していきたい。

問 残された人が困らないために自分に関するさまざまな情報を書き残す「エンディングノート」の冊子発行は。

総務課長 官民連携の申し出があれば検討する。

問 国の防災基本計画には***マンホールトイレ**の整備を自治体に要請しているが、町の計画は。

町長 災害時に日常に近いトイレ環境が確保できる反面、地震災害で下水道が破損する恐れがある。マンホールトイレ設置も視野に取組むが、自助の観点から簡易トイレや携帯トイレを各自で備えていただきた

問 下水道の耐震化状況は。

丹沢生活環境課長 耐震化率は75%。主要な避難所等の下水道には優先して耐震化工事を行なうなど、公共下水道総合地震対策計画をもとに耐震化事業に取り組んでいる。

問 ***トイレトレーラー**の導入は。

林防災課長 災害時だけでなく普段にも使える有効なものであり、クラウドファンディング等も検討しながら進めていきたい。

組合議会の報告

(万円未満は四捨五入)

三郡衛生組合

第2回定例会 11月2日

令和2年度一般会計、し尿処理事業特別会計及び火葬事業特別会計歳入歳出決算認定3件、人事案件1件で、いずれも原案どおり認定・同意されました。

(報告 齋藤 美佐)

令和2年度 決算

一般会計		
歳入		2660万円
歳出		2487万円
差し引き額		173万円
本町の負担金	16.5%	400万円
し尿処理事業特別会計		
歳入	2億	6932万円
歳出	2億	5857万円
差し引き額		1075万円
本町の負担金	16.2%	3976万円
火葬事業特別会計		
歳入	1億	9722万円
歳出	1億	8139万円
差し引き額		1583万円
本町の負担金	12.1%	1947万円

峡南広域行政組合

第2回定例会 10月15日

令和3年度補正予算2件、令和2年度決算認定3件及び人事案件で、いずれも原案どおり可決・認定・同意されました。情報センター・慈生園常任委員会委員長に本町の松野清貴議員が選出されました。

(報告 松野 清貴)

令和2年度 決算

一般会計		
歳入	18億	2132万円
歳出	17億	7378万円
差し引き額		4754万円
本町の負担金	26.7%	3億8004万円
介護保険特別会計		
歳入	2億	1317万円
歳出	2億	10万円
差し引き額		1307万円
峡南ふるさと市町村圏特別会計		
歳入		876万円
歳出		864万円
差し引き額		12万円

■組合事業
4つの所属に分かれて活動
①事務局総務課
②消防本部
③情報センター
④老人ホーム(慈生園)
■常任委員会構成
・総務消防常任委員会
・情報センター・慈生園常任委員会

中巨摩地区広域事務組合

9月定例会 10月4日

令和3年度補正予算2件及び令和2年度決算認定6件で、いずれも原案どおり可決・認定されました。

(報告 小川 好二)

令和2年度 決算

一般会計		
歳入	5897万円	
歳出	5572万円	
差し引き額	325万円	
本町の負担金	7.9%	404万円
ごみ処理事業特別会計		
歳入	16億	1430万円
歳出	15億	5841万円
差し引き額		5589万円
本町の負担金	8.3%	8680万円
地区公民館事業特別会計		
歳入	970万円	
歳出	916万円	
差し引き額	54万円	
本町の負担金	7.9%	71万円
老人福祉事業特別会計		
歳入	3290万円	
歳出	3064万円	
差し引き額	226万円	
本町の負担金	7.9%	225万円

勤労青年センター事業特別会計		
歳入	5146万円	
歳出	4763万円	
差し引き額	383万円	
本町の負担金	11.3%	489万円
し尿処理事業特別会計		
歳入	2億	4712万円
歳出	2億	4174万円
差し引き額		538万円
(本町の負担金対象外)		

峡南衛生組合

第2回定例会 10月14日

令和2年度決算認定1件、規約の制定1件及び令和3年度補正予算1件で、いずれも原案どおり承認・可決・同意されました。

また、本町の小川好一議員が議長に選出されました。

第1回臨時会 11月30日

専決処分案件1件、条例の一部改正1件、人事案件1件で、いずれも原案どおり認定・可決されました。

(報告 小川 好一)

山梨県後期高齢者医療広域連合

第2回定例会 10月25日

令和2年度決算認定2件及び令和3年度補正予算2件で、いずれも原案どおり認定・可決されました。

(報告 高尾 貫)

峡南医療センター企業団

第3回定例会 11月24日

令和3年度補正予算専決処分1件及び補正予算議案1件で、いずれも原案どおり承認・可決されました。補正予算は、新型コロナウイルス感染症医療機関設備整備事業のため、4950万円増額するものなど。

(報告 丹澤 孝)

山梨西部広域環境組合

第2回定例会 10月28日

令和2年度決算認定1件及び規約の改正1件で、原案どおり認定・可決されました。

(報告 丹澤 孝)

令和2年度 決算

一般会計		
歳入	5億	3003万円
歳出	5億	98万円
差し引き額		2905万円
本町の負担金	11.4%	4976万円

令和2年度 決算

一般会計		
歳入	5億	2179万円
歳出	4億	9404万円
差し引き額		2775万円
本町の負担金	2.3%	1201万円

後期高齢者医療特別会計		
歳入	1038億	4491万円
歳出	1015億	270万円
差し引き額	23億	4221万円
本町の負担金	0.04%	4億690万円

令和2年度 決算

一般会計		
歳入	1億	7823万円
(分担金及び負担金)		
歳出	1億	880万円
(総務費及び建設事業費と広域ごみ処理施設整備作成業務委託料など)		
差し引き額		6943万円
本町の負担金	5.3%	906万円

審議結果 第2回臨時会（11月22日）

条例の制定 1件	結 果
市川三郷町官製談合事案への調査に係る第三者委員会設置条例制定	可決・賛成多数
条例の改正 1件	結 果
監査委員条例中改正	可決・全会一致
その他の議案 5件	結 果
監査委員の選任につき同意を求める	同意・全会一致
峡南広域行政組合議会議員の選挙	可決・全会一致
中巨摩地区広域事務組合議会議員の選挙	可決・全会一致
峡南衛生組合議会議員の選挙	可決・全会一致
峡南医療センター企業団議会議員の選挙	可決・全会一致

審議結果 第4回定例会（12月2日～14日）

承認 2件	結 果
職員給与条例中改正	承認・全会一致
町長、教育長の給与及び旅費条例中改正	承認・全会一致
条例の制定 1件	結 果
副町長の定数を定める条例制定	可決・賛成多数
条例の改正 5件	結 果
特別職報酬等審議会条例中改正	可決・全会一致
手数料条例中改正	可決・全会一致
印鑑条例中改正	可決・全会一致
国民健康保険条例中改正	可決・全会一致
国民健康保険税条例中改正	可決・全会一致
補正予算 10件	結 果
一般会計補正予算（第7号）（第8号）	可決・全会一致
国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可決・全会一致
介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決・全会一致
訪問看護ステーション西八代特別会計補正予算（第2号）	可決・全会一致
簡易水道特別会計補正予算（第3号）	可決・全会一致
公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決・全会一致
温泉事業特別会計補正予算（第1号）	可決・全会一致
後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決・全会一致
峡南地域教育支援センター共同設置特別会計補正予算（第1号）	可決・全会一致
その他の議案 3件	結 果
公平委員会委員の選任につき同意を求める	同意・全会一致
人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める	適任・全会一致
選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙	可決・全会一致

討論

☆副町長の定数を定める条例
制定

（反対） 一瀬 正 議員
新しく就任した遠藤町長は議員経験が長く、行政をチェックできるベテランであるから、自ら頑張り、町民の信頼を取り戻してほしい。

(反対) 高尾 貫 議員
町民の将来負担を少しでも軽減するため、町の赤字状態が改善されるまで、副町長を設置すべきではない。

地方自治法には「市町村に副市町村長を置く」と明記されている。副町長はそもそも「適任」の「人材」を充てて設けるべき役職だ。第三者の視点で客観的に町の施策を行う必要がある。

（賛成）有泉 希 議員
本町の行政組織の改善に
対し、有効な提案である。
多様な業務への対応には
副町長の設置が必須だ。

(賛成9) 三神・松野・有泉
丹澤・齋藤・笠井(辰
秋山・一ノ瀬・新津)

(反対3…一瀬・高尾・小川)

人事

●公平委員

島田 基樹 氏（上野）
伊藤 憲一 氏（市川大門）
長田 知久 氏（岩間）

●選挙管理委員会委員

一瀬	岸本	塩澤	秋山
茂	閑雄	好光	聰史
氏	氏	氏	氏
(市川大門)	(高田)	(葛籠沢)	(大塚)

●選挙管理委員会委員補充員

遠藤 貞治 氏（岩間）
井上 浩二 氏（黒沢）
青柳 和彦 氏（市川大門）
丹沢千代治 氏（上野）

●人権擁護委員
望月 良美氏（三 帳）

次回定例会は令和4年3月に
予定されています。

町のホームページから議会本会議の会議録の閲覧ができます。検索機能もあり便利です。ぜひご利用ください。

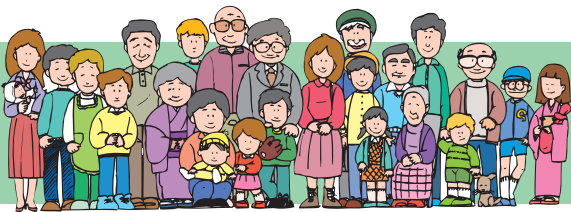
◆お問い合わせ

議会事務局 TEL 055-272-1108

広域行政事務組合の概要

令和3年 12 月 14 日 現在

組合名	構成自治体	主な業務	市川三郷町 組合議会議員
		事務所所在地	
三郡衛生組合	・市川三郷町 ・南アルプス市 ・中央市 ・富士川町 ・昭和町	・し尿処理業務 ・火葬場 *対象は、 市川・三珠地区	・一瀬 正 ・三神貞雄 ・齊藤美佐 ・笠井辰生
		南アルプス市東南湖 1080	
峡南広域行政組合	・市川三郷町 ・早川町 ・身延町 ・南部町 ・富士川町	・老人ホーム・介護 ・障がい認定 ・消防・情報センター	・三神貞雄 ・松野清貴 ・秋山豊彦
		市川三郷町岩間 495	
中巨摩地区広域 事務組合	・市川三郷町 ・南アルプス市 ・甲斐市 ・中央市 ・富士川町 ・昭和町	・ごみ処理 *対象は、 市川・三珠地区	・笠井雄一 ・一ノ瀬幸人
		中央市一町畑1189	
峡南衛生組合	・市川三郷町 ・早川町 ・身延町 ・南部町	・ごみ処理・し尿処理業務 ・火葬場 *対象は、六郷地区	・小川好一 ・新津千吉
		身延町下田原2548	
山梨県後期高齢者 医療広域連合	県下全 27 市町村	・後期高齢者医療制度運営	・高尾 貫
		甲府市蓬沢一丁目 15 番 35 号	
峡南医療センター 企業団	・市川三郷町 ・富士川町	●病院 ・市川三郷病院 ・富士川病院 ●介護老人施設 ・ケアセンターいちかわ ・サンビューふじかわ	・松野清貴 ・有泉 希 ・高尾 貫 ・丹澤 孝 ・秋山豊彦
		富士川町鯉沢 340-1	
山梨西部広域 環境組合	・市川三郷町 ・韮崎市 ・北杜市 ・中央市 ・身延町 ・富士川町	・南アルプス市 ・甲斐市 ・早川町 ・南部町 ・昭和町	・丹澤 孝
		・ごみ処理施設設置に関する事務の共同処理	
		中央市藤巻2303-2	



六郷と印章業



JR 甲斐岩間駅前

山梨県（甲斐の国）では早くより、甲府の御嶽地域等で水晶彫刻などが盛んとなり、江戸時代から数多くの著名な篆刻家を輩出しました。明治となり、山梨県では県立の水晶工場で技術者を養成し、甲府市周辺では水晶加工業や水晶印の篆刻も盛んになりました。六郷でも優れた篆刻家が育ち、その技術を後世に伝えました。

六郷では、江戸時代には農家の副業として「足袋の岩間」と言われる程になりましたが、明治に入り機械化による大量生産品の影響で、次第に「岩間足袋」は姿を消しました。

一方で足袋の行商での営業力や通信販売を活用して印章の注文をとるようになり、大正時代には「はんこの町」として印章業が地場産業としての地盤を築きました。

六郷印章業連合組合 HP より抜粋



今議会終了後、笠井辰生議員より、12月17日付で議員辞職願が議長あてに提出され、受理されました。

日本一の巨大はんこ



印章資料館（町地場産業会館内）駐車場入り口にある巨大印「不動如山」

編集後記

新しく町長を迎え健全な町政と財政再建策が求められています。新たな副町長設置に賛否両論もありますが新しい多角的な取り組みに期待を寄せるところです。

議会においても条例等の内容を精査し住民の負託に応え職務に当たってまいります。

新型コロナウイルスの感染者が各地では下火になりましたが矢先に新たなオミクロン株の出現で警戒感が増しています。今後も新たな変異株が発生することを警戒しマスク着用、手洗い、換気等に心掛け普段の生活を取り戻したいと思っています。三回目のワクチン接種にもご協力いただき、皆様の健康を維持したいと思います。

（記 新津 千吉）

議会広報編集特別委員会

委員長	小川 好一
副委員長	丹澤 孝
委員	齋藤 美佐
委員	一ノ瀬 幸人
委員	新津 千吉